

安全データシート

作成日 2017 年 8 月 30 日

改訂日 2025 年 4 月 24 日

1. 製品及び会社情報

製品名 フェノキシエタノール (2-Phenoxyethanol)

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町 3-5-13 本町ガーデンシティテラス 3 階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

推奨用途及び使用上の制限 香料保留剤、殺菌剤、防虫剤、織物なっ染助剤、
写真フィルム添加剤、塗料防カビ剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253 : 2019 使用

物理化学的危険性 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分 4

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分 1

特定標的臓器毒性（単回暴露） 【区分 3】 麻酔作用

環境に対する有害性 区分に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語警告

危険有害性情報飲み込むと有害

強い眼刺激

眠気またはめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】 吸入を避けること。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる

こと。飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

【保管】換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

【廃棄】内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別： 化学物質

別名 Ethylene Glycol Monophenyl Ether , Phenyl Cellosolve , Phenyl Glycol

化学式： $C_8H_{10}O_2$

官報公示整理番号

化審法： (3)-558, (9)-1277, (7)-78

安衛法： 公表化学物質

CAS： 122-99-6

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる

場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

最も重要な徴候及び症状： 咳、咽頭痛、陶酔感、頭痛、し眠、不明瞭言語、発赤、皮膚の乾燥、しびれ感、痛み

応急措置をする者の保護： 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

使ってはならない消火剤： 棒状水

特有の消火方法： 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を

用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置：

特別個人用保護具（自給式呼吸器）を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項： 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法

・機材：

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項： できれば、密閉系で取扱う。

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項： あらゆる接触を避ける。

保管

適切な保管条件： 容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料： 法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度： 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具： 防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

手の保護具： 不浸透性の手袋。

目の保護具： 保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具： 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态(20℃)： 液体

形状： 透明

色： 無色

臭い： 僅かな芳香

pH： 情報なし

融点： 12° C (凝固点)

沸点/沸騰範囲： 237℃

引火点： 127℃

燃焼又は爆発範囲

下限： 1.4%

上限： 9%

蒸気圧： 1.3Pa/20° C

蒸気密度： 4.8

比重： 1.11

溶解度

〔水〕 微溶(2.7g/100mL)

〔その他の溶剤〕

易溶： エーテル，アルコール，水酸化ナトリウム溶液

オクタノール/水分配係数： 1.2

自然発火温度： 500℃

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性： 特別な反応性は報告されていない。

混触危険物質： 酸化剤

危険有害な分解生成物： 一酸化炭素，二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性： orl-rat LD50:1260 mg/kg

skn-rbt LD50:5 mL/kg

ipr-rat LD50:554 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性： skn-rbt 500 mg/24H MLD

眼に対する重篤な損傷／刺激性 ウサギ(n=6)を用いた眼刺激性試験(OECD TG 405、21日観察)において、全例で角膜影響がみられ、1例の角膜混濁は21日後まで持続した(角膜混濁スコア：1/1/1/1/1/1、虹彩炎スコア：0.3/0/1/1.7/1.3/0.7、結膜発赤スコア：1/1.3/0.7/0.7/0.3/1.3、結膜浮腫スコア：0.3/0.3/0.3/0/0.3/0)との報告がある(ECHA RAC Opinion (2019)、CLH Report (2018)、REACH登録情報 (Accessed Oct. 2022))。 区分1に変更。

生殖細胞変異原性： dni-esc 2000 ppm

oms-esc 2000 ppm

発がん性：

IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性： 情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露) ラットを用いた経口投与試験で活動低下、反射及び呼吸の抑制、昏睡など中枢神経抑制作用が認められたとの記述(SIDS (2005))、並びに当該物質が魚の麻酔剤として使用されているとの記述(PATTY (6th, 2012))から区分3(麻酔作用)に分類した。

12. 環境影響情報

生態毒性：

魚類： 情報なし

甲殻類： 情報なし

藻類： 情報なし

残留性/分解性： 情報なし

*既存化学物質安全性点検による判定結果：良分解性

生体蓄積性(BCF)： 情報なし

土壌中の移動性

オクタノール/水分配係数： 1.2

土壌吸着係数(Koc)： 16

ヘンリー定数(PaM3/mol)： 2.0×10^{-2}

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類： 国連の分類基準に該当せず。

国連番号： 該当なし。

輸送の特定の安全対策及び条件：

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行之、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法： 第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

労働安全衛生法 皮膚刺激性有害物質等

(R8年4月1日より)名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
(2-フェノキシエタノール)(皮膚刺激性有害物質)

16. その他の情報

- ・このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。
ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。
ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。